

ちば県議会だより

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

十月二十八日(水)



共産党 丸山 慎一 議員 (船橋市)

- 第九号など憲法に対する基本姿勢
- 放射性廃棄物の処理
- いじめ問題
- 千葉県中小企業振興条例



開拓 花崎 広毅 議員 (我孫子市)

- 財政問題・行政改革
- 経済・雇用問題
- 教育問題
- 焼却灰一時保管問題



自民党 村上 純丈 議員 (習志野市)

- 千葉県液化化等被害住宅再建支援事業
- 地域防災力の向上
- 発達障害児への支援
- ことも急病電話相談事業

十月二十九日(木)



自民党 吉本 充 議員 (富津市)

- 東京湾漁業の振興
- 母子寡婦福祉資金
- 原木シイタケの出荷制限
- 浜金谷港の整備



民主党 河野 俊紀 議員 (千葉市美浜区)

- 埋立地の液化化調査の強化
- 放射能拡散シミュレーションを活用した原子力災害対策の推進
- 幕張ベイタウンから海浜幕張駅へのアクセス
- 夜遅い塾帰りの子どもの防犯対策



自民党 石橋 清孝 議員 (東金市)

- 県議会の海外交流
- 植木類の輸出
- 三次救命救急センターを運営している病院への支援
- 成田空港を生かす道路整備



千葉維新の会・県民の声 プリティ長嶋 議員 (市川市)

- 警察におけるAEDの設置
- 九十九里浜の侵食対策
- アイザックス症候群の罹患者の救済
- 利根川水系の水質管理体制



自民党 内田 悦嗣 議員 (浦安市)

- 震災対策
- がん対策
- 障害者スポーツの振興
- 行政改革

十月三十日(金)



自民党 滝田 敏幸 議員 (印西市)

- 指定廃棄物



公明党 赤間 正明 議員 (市川市)

- 消防学校
- 北総鉄道
- 道路問題
- ドクターヘリ
- アクティブ・シニア・チーパス
- 事業
- 自転車の無灯火取り締まり対策
- 行徳橋



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

- 液化天然ガスの安全供給
- 観光の風評被害
- 農業問題
- いじめ問題



千葉維新の会・県民の声 佐藤 浩 議員 (船橋市)

- 東葉高速沿線開発
- いじめ問題と警察との連携
- 教育行政に民意を入れること



自民党 服部 友則 議員 (八千代市)

- 東葉高速鉄道
- 高齢者対策
- 道路問題
- 教育問題

十一月二日(月)



市民ネット・社民・無所属 入江 晶子 議員 (佐倉市)

- 原発事故子ども被災者支援法への対応

- 児童虐待
- 生活保護制度
- ダム問題



自民党 秋山 光章 議員 (館山市)

- 安房地域における雇用問題
- 県有施設
- 地方自治法施行六十周年記念貨幣の発行
- 伝統工芸品の後継者育成



自民党 関 政幸 議員 (千葉市緑区)

- いじめ問題
- 町内会・自治会のトラブル

- がん対策
- 子育て応援！チーパス事業



民主党 中田 学 議員 (柏市)

- 「道の駅」の防災拠点化
- 学校施設といじめ問題
- 柏警察署の二分署化
- 保育所の運営と障害者雇用



自民党 坂下 しげき 議員 (市川市)

- すべての人が安心して暮らせるまちづくり
- 災害・事故に強いまちづくり
- 生活環境の整備

- 水道行政



自民党 伊藤 昌弘 議員 (佐倉市)

- 印旛沼の水質浄化
- 印旛沼と周辺における特定外来生物の駆除
- コメの新品種の開発
- 道路問題



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

- (仮称)新流山橋と新川南流山線子どもへの放射能の影響

- 学力向上教育
- 生涯大学校



民主党 矢崎 堅太郎 議員 (浦安市)

- 浦安の都市整備
- 再生可能エネルギー
- 住宅政策
- 三番瀬



自民党 林 幹人 議員 (成田市)

- 成田空港
- 脱法ハーブなどの違法ドラッグ
- 防犯対策

12月定例県議会 知事あいさつ

新卒未就職者などの早期就職支援事業を今年度中に開始するための補正予算を計上

平成24年度補正予算案の主なものとしては、

- 千葉県生涯大学の指定管理を行うにあたり、年度内に管理運営協定を締結するため、また、引き続き厳しい雇用情勢に対応し、新卒の未就職者などの早期就職を支援する事業などを今年度中に開始するための債務負担行為の追加
- 妙典橋新設事業の全体工程を見直し、平成27年度外環道開通に合わせるため債務負担行為を変更
- 県営用排水改良事業など、年度内に終了しないことが判明した事業について、適正な工期を確保するための繰越明許費の設定

などがあります。



県では、現在、県有地2カ所と県有施設1カ所において、メガソーラーや小水力発電施設を設置・運営する事業者を募集するなど、民間プロジェクトを支援しているところ。新エネルギーの導入の促進は、エネルギー源の多様化や環境負荷の低減のみならず、地域経済の活性化にも大きく寄与すると考えています。今後とも、民間事業者に対する支援とともに、地域による特色ある取り組みを促進することにより、本県の新エネルギー施策の推進を図っていきます。

最後に、「観光キャンペーン」について申し上げます。平成25年1月から、「元気あげます！春の房総」をキャッチコピーに、早春の観光キャンペーンを開催します。ひと足早い春の房総を彩る、ストックやスイセン、菜の花などの色鮮やかな花々や、新鮮な海の幸・山の幸、イチゴ狩りなど、春の香りと味覚を全国にアピールするとともに、首都圏における産直市や、観光プロモーションも実施し、観光客の誘致を積極的に行っていきます。

さらに、2月9日から11日までの3日間、JR東日本の企画により、佐原・銚子間で「SLおいでよ銚子号」が走行します。成田線を44年ぶりに走るSLの姿は、鉄道ファンのみならず、多くの観光客に楽しんでいただけるものと考えています。今後とも、観光キャンペーンを積極的に展開し、本県の豊かな自然や観光資源、新鮮でおいしい農林水産物などをPRし、東日本大震災により減少した観光客の一層の回復に向けて全力で取り組んでいきます。

その他、条例の制定についてなど、議案の概要説明がありました。

「ちばアクアラインマラソン」について報告します。大会当日は、心配された風の影響もなく、さわやかな秋晴れの中、県内外から参加された約1万4千人のランナーが、東京湾アクアラインをはじめとする千葉の魅力満載のコースを走りました。ランナーの皆様には、日本で初めて、海の上の高速道路を走るマラソンとして、普段味わうことのできない東京湾の大パノラマや房総の山々を一望し、千葉のすばらしさを十分に満喫いただけたと思います。

開催にあたり、地元木更津市、袖ヶ浦市の皆様をはじめ、関係各位のご理解、ご協力をいただき、改めて心からお礼申し上げます。テレビ、ラジオ、新聞などでは、アクアラインをランナーが走る圧巻の映像や、沿道での切れ目ない応援の姿に加え、献身的なボランティアの活動などが大きく取り上げられ、千葉の魅力や県民のおもてなしの心を広く県内外に発信することができました。アクアラインマラソンによる本県への注目をさらに高めるため、千葉の魅力を全国へ、世界へ発信していきます。

次に、「新エネルギーの導入促進」について申し上げます。平成24年7月から、電力会社に再生可能エネルギーの購入を義務付ける、固定価格買取制度が開始され、県内でも、市原市と佐倉市で、一般家庭の600世帯分の年間電力消費量に相当する、2メガワット規模のメガソーラーが相次いで稼働しました。また、10月末には、我が国初となる本格的な洋上風力発電設備が、銚子市沖合に完成し、平成25年には実用化に向けた実証実験が開始されるなど、新エネルギーに関する事業活動が活発化しています。